

第10回世界健康安全保障イニシアティブ閣僚級会合
共同声明概要

1. 新型インフルエンザへの対応の強化

- ・ 新型インフルエンザの流行の継続への警戒
- ・ ハイリスクグループへのワクチン接種の継続的实施
- ・ ワクチン製造業者との情報交換
- ・ 国際支援に係るWHOへの協力
- ・ ワクチンの安全性モニタリングの継続
- ・ ワクチン接種以外の保健上の手法の重要性の認識
- ・ ウイルス拡大防止の手法としての国境閉鎖の排除
- ・ 公衆衛生上の戦略についての経験の共有
- ・ 新型インフルエンザ対策の経験から得られた教訓の考察

2. 他の分野における健康安全保障の強化

- ・ 様々な健康安全保障上の脅威に対する分野を越えた準備の必要性の認識
- ・ 危機対処のための薬剤の研究開発、有効期限延長のための戦略等についての情報共有
- ・ 脅威の早期探知システム及び報告体制の開発
- ・ 化学／放射性物質によるリスクについての対応能力の強化
- ・ 国際保健規則（IHR）の実施の支援に係るWHOへの協力

3. 今後の優先活動事項

- ・ 脅威及びリスクの定期的評価の実施
- ・ 新型インフルエンザの季節性インフルエンザへの変化の可能性への対応
- ・ 新型インフルエンザへの対応から得た教訓の、他の脅威に対する準備への応用
- ・ 危機対処のための薬剤開発に係る協調についての、戦略的手法の開発
- ・ 研究所の診断能力及び精度管理の強化
- ・ オリンピック等の集会の準備手法に係る情報交換
- ・ 人間の除染のための手法に係る協力
- ・ 健康危機の早期段階での、決断に影響する要素についての研究
- ・ リスクコミュニケーションのための戦略の開発